

銘柄分析レポート：2021年のIPO銘柄再調査

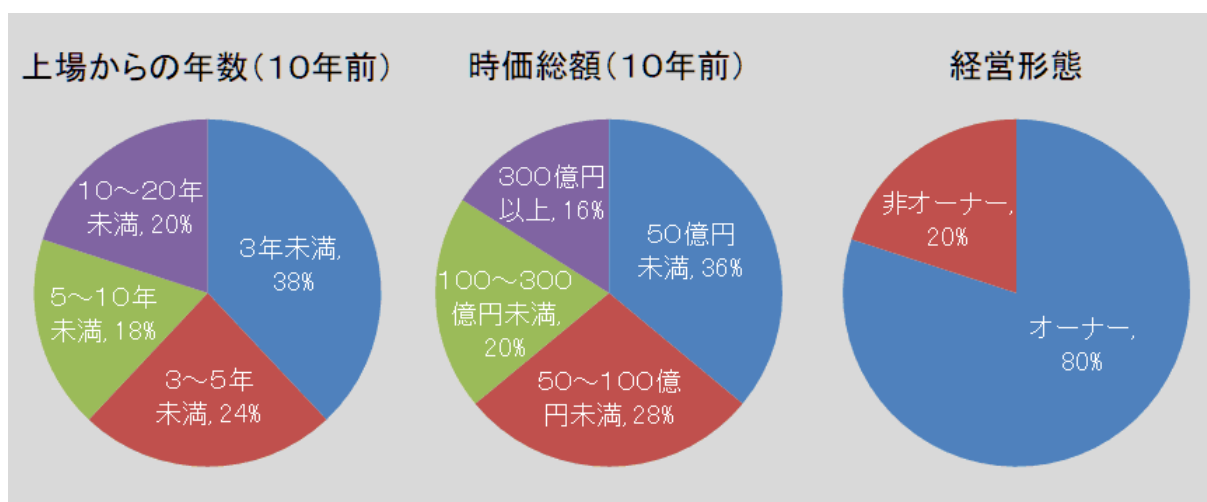
1 はじめに

会社四季報2018年新春号の「10年前比較ランキング」に、時価総額を10倍以上に増やした50銘柄が掲載されています。

対象期間は2007年10月31日から2017年11月27日まで。リーマンショック後の大不況を乗り越え、成長を遂げた会社ばかりです。

この50銘柄について調べれば、10倍株の大まかな特徴を把握できる、たいへん貴重な資料です。結果は次のとおりでした。

- 上場5年以内の若い会社：62%
- 時価総額300億円未満の小型株：84%
- オーナー経営（大半は創業者）：80%



もし未来の10倍株を探り当てたいのであれば、直近に上場したオーナー経営の小型株を片っ端から分析することが一番の近道です。

かくいう私も、とりあえず2018年から2020年までのIPO銘柄を調べ直し、この5月に開催したバリュー投資塾「10倍株候補」のセミナーテキストとしてまとめました。

その作業に加えて、2021年のIPO銘柄に関しても再調査を行ったところ、新たに2社が浮かび上がってきました。さっそく、今回の銘柄分析レポートで紹介しましょう。